

85名が出席 古希を祝う

昭和34年卒同期会

秋高三十四年卒業の「卒業五十周年と古希を祝う会」は、九月四日、秋田市のイヤタカで八十五名が出席して開かれた。



代表幹事長の那波伊四郎君の開会の挨拶のあと来賓の山谷浩二副会長が、秋高三年当時の各クラスの担任の名前を披露、菊谷一校長は学校の近況を報告。同期の豊口祐一會長の乾杯の音頭で祝いの宴へと移った。

校友会歌を斉唱、それぞれが二次会へと散っていった。

古希を祝って 同期五氏講演

昭和34年卒東京同期会



東京都庁斜め向かいにあるホテルハイアットトリージェンシー東京で、十一月二十九日、五十四余名が参加して昭和三十四年卒「卒五十周年・古希を祝う東京同期会」が盛大に行われた。

第一部の「仲間の話を聞く」では、岩崎雅典氏（映像作家）、西木正明氏（作家・直木賞受賞）、木村興治氏（日本卓球協会元専務理事・JOC委員）、萩原征三郎氏（元産経

新聞論説委員）、三木彬生氏（元J.R.東日本研究所・スイカ開発貢献者）の五氏が講演した。

第二部の「懇親祝賀会」では、同期でもある豊口祐一同窓会長に続き、秋田代表として那波伊四郎氏の挨拶のあと辻内政隆氏（奈良県）の音頭で乾杯。その後、クラス別の自己紹介では、組別に演台に上がり、秋高当時の思い出などを披露した。

小出茂氏のハワイアンバンド演奏とダンスは、業界の第一人者だけに素晴らしく、お祝いの会に花を添え、最後に棟方孝氏の音頭で校歌を高らかに斉唱、再会を念じつつ会場をあとにした。

（鈴木陸雄 記）

駅前校舎の 思い出語る

卒業45周年同期会

昭和39年卒

六月十三日（土）卒業四十五年を記念して、昭和三十九年卒同期会が開催された。

当日は朝から秋田椿台カントリークラブにおいて、二十一名で、各支部別団体戦親善ゴルフも行われた。

午後六時半から、秋田駅前ホテルメトロポリタンにおいて、山谷浩二同窓会副会長、

渡邊淳司先生、岡準造先生、館岡昇一先生、幸野稔先生、恩師五名のご臨席をいただき、同期生九十五名が各地から参集した。三十八名の物故者へ黙祷を捧げた後、加成義臣君の司会で校歌斉唱、鈴木諒會長の挨拶、渡邊克忠君の乾杯発声で宴会が開始された。各恩師から近況や健康状態の話



もあつたが、何より懐かしかったのは駅前校舎当時の思い出であった。関東地区支部長の安田恭子さん、東北地区支部長の小野弘美君から支部活動の紹介があり、生徒会長松本岸雄君の登壇で宴は盛り上がった。同期会主題歌「高校三年生」を歌い、佐藤忠君の中締め後も、談笑は尽きなかった。翌日は、十五名で「男鹿半

島鯛祭り」バスツアーが行われた。前男鹿市長佐藤一誠君の名ガイドで、寒風山、なまはげ館、水族館G.A.Oを巡り、門前「磯の家」では、新鮮な海の幸を心ゆくまで堪能した。

（安藤正昭 記）

不老ふ死温泉へ

昭和32年卒ジープ会

「ジープ会」（昭三十二年卒、男女混成クラス、担任はジープこと故加藤仁美先生）が今年も十九名が参加して行われた。場所は白神山地の北の方から日本海に突き出た岬の突端にある「不老ふ死温泉」。六十歳代半ばである世に逝った者による次のような「遺言」



がある。「ジープ会は最後の二人まで継続すること」。これに従えば、来年もどこかに集まることになると思われる。幹事（事務局）佐藤信之助